

令和4年度 山梨県立甲府南高等学校学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 将来、日本や国際社会の様々な分野で活躍し、社会の発展に貢献できる人材の育成を図る。

山梨県立甲府南高等学校長 篠原 茂樹

本年度の重点目標	1 活用力や探究力を高める授業を展開し、確かな学力の定着を図る。
	2 様々な体験を通じて、他者を思いやり、社会の絆を深める「しなやかな心」を育てる。
	3 体育活動・文化活動を積極的に推進し、心身共に健全な生徒を育てる。
	4 生徒の個性を活かし、自らの生き方・在り方を考えさせる進路指導を積極的に行う。
	5 スーパーサイエンスハイスクールにおける主体的・協働的な探究活動を深め、課題解決能力を育てる。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			年度末評価(令和5年2月24日現在)		
番号	評価項目	本年度の重点目標	自己評価結果		
			達成度	成果と次年度への課題・改善策	
1	活用力や探究力を高める授業を展開し、確かな学力の定着を図る	<p>目標と指導し評価の一体化を目指した授業により、生徒の思考力・判断力・表現力を養う。</p> <p>生徒の主体的で協働的な学習により活用力・探究力を高める</p> <p>文章を書く機会や発表する機会を設定し、言語活動の充実・努める</p> <p>教材や資料の共有化やICTの効果的な活用を図る</p>	<p>授業参観 授業アンケート</p> <p>学習の記録表 課題の状況把握</p> <p>定期試験への記述問題 発表における総合評価</p> <p>授業参観 授業アンケート</p>	B	<p>・授業改善や指導法および評価の研究、研修の場として、教科会議をさらに活発なものとできるよう促していく。また、相互授業参観を活性化し、宿題等の学習課題のあり方について検証し、授業改善につなげていく。</p> <p>・各教科において主体的で協働的な学習活動を推進するとともに、教科横断的な視点で課題発見、課題解決が図れるよう教科間の繋がりを強めていく。</p> <p>・ICTを効果的に活用し、生徒一人ひとりが成果をまとめたり、発表する場面をより多く設定していくとともに、定期試験の作問研究など、記述力を試したり、高めていく工夫を検証していく。</p> <p>・一人一台端末の導入等により、ICT機器を積極的に活用することで、発展的で深い学びとなる学習活動の研究をしていく。</p>
2	様々な体験を通じて、他者を思いやり、社会の絆を深める「しなやかな心」を育てる	<p>ボランティア精神の啓蒙に努め、主体的なボランティア活動を推進する</p> <p>通学時マナーアップ運動と運動した安全登校や挨拶・身だしなみの指導を展開する</p> <p>道徳教育を推進し、しなやかな心を持つ、人間として調和のとれた生徒の育成に努める</p> <p>関係機関との連携やスクールカウンセラーの活用により、教育相談の充実を図る</p>	<p>ボランティア1000回運動 環境委員会活動 インター外委員会活動</p> <p>選別者数の統計調査 事故違反者数の統計調査</p> <p>LHRでの活動 各種行事等の実践事例</p> <p>学年保健連絡会実施</p>	B	<p>・コロナ禍のため「ボランティア1000回」は実現できず、また全校奉仕活動も行えなかった。一方で、2年生が修学旅行中に海岸の清掃ボランティアをするなど新しい試みも行った。</p> <p>・生徒、保護者への協力を得る中で、安全登校指導の充実に加え、より安全性を確保するための通学経路等の変更を行った。</p> <p>・多くの外部講師の講演会その他、道徳教育に特化したLHRの相互授業参観などを学校全体で取り組んだ。</p> <p>・年間140時間のスクールカウンセリングを実施し、生徒と保護者、また教職員への相談体制の充実を図った。学年保健連絡会では5回実施し、様々な問題を抱えた生徒について、個々の事案を共有し、状況の改善、解決を図る一助とした。</p>
3	体育活動・文化活動を積極的に推進し、心身共に健全な生徒を育てる	<p>部活動を計画的・効果的に進め、学校の活性化と生徒の心身の健全な育成に努める</p> <p>文化的・教養的行事等を通じて生徒の豊かな感性の育成に努める</p> <p>体育的行事等を通じてスポーツに親しませ、体力向上に努める</p> <p>月2回のきずなの日を完全実施する中で、計画的に部休日を設ける</p>	<p>各種大会の結果 部活動への参加率</p> <p>外部参加者へのアンケート調査</p> <p>新体操の実施 生徒アンケートの実施</p> <p>活動計画書・活動実績書</p>	B	<p>・陸上部女子が県総体で総合2連覇、テニス部女子が全国大会、ソフトテニス部男子が県予選1位で関東大会に出場した。</p> <p>・部活動加入率は前年とほぼ同じ(87%)であり、活動状況はコロナ禍前に戻りつつある。</p> <p>・学園祭は、コロナ感染防止対策を徹底する中で従来の3日間開催(体育祭1日、文化祭2日)を行うことができた。</p> <p>・歌声コンクールが3年ぶりに実施することができた。</p> <p>・3月の球技大会は実施予定である。</p> <p>・県のガイドラインに従い、休業日(月2日のきずなの日、平日1日、週休日1日)、計画的な部活動運営を行った。</p>
4	生徒の個性を活かし、自らの在り方生き方を考えさせる進路指導を積極的に行う	<p>ホームルームや総合的な学習の時間を中心に、体系的プログラムによるキャリア教育を推進する</p> <p>進路希望に応じた課外・模擬試験・学習会等を効果的に行う</p> <p>主体的な活動を通して、自己の進路と社会の諸問題を結びつけて考えさせる</p>	<p>発表における自己評価 及び相互評価</p> <p>課外の実施回数 生徒アンケートの実施</p> <p>講演会や講話の実施 小論文指導</p>	B	<p>・新型コロナの影響が長引く中、各種課外・模擬試験・学習会をほぼ通常通り実施することができた。</p> <p>・職業人講話やライブプログラミング育成講座など、キャリア教育に関する活動についても、計画通り実行できている。生徒・保護者アンケートにおいても肯定的な評価が昨年度よりも増えている。また、女性を講師として多く依頼し、女性の社会参画について紹介する機会とした。</p>
5	スーパーサイエンスハイスクールにおける主体的・協働的な探究活動を深め、課題解決能力を育てる。	<p>学校設定科目「ボランティア探究」を通して課題研究に全校で取り組み、学びに向かう力をつける</p> <p>高大接続プログラムを開発し、ポータルサイトやルーブリックの研究を行う</p> <p>サイエンスイングリッシュや研修旅行を通して、実践的英語力を育成する</p>	<p>研究発表会</p> <p>生徒・教員アンケート実施 ポータルサイト ルーブリック</p> <p>サイエンスイングリッシュ 連携校との交流</p>	B	<p>・ICTを効果的に活用し、ほぼ計画どおりの運営が実施された。生徒アンケートでは、SSHの取組が、学習への興味関心につながるかと85%の回答が得られた。教員調査でも生徒は協力的に課題研究に取り組んでいると98%の回答が得られた。また、科学の甲子園全国大会出場、県自然科学発表会で2研究が芸術文化賞受賞、日本学生科学賞県議会長賞受賞、プログラミングコンテスト優勝など、多くの活動で入賞した。</p> <p>・ポータルサイトについては、これまでの成果を普及する目的で、ホームページより公開を行った。また、</p> <p>・コロナ禍により海外研修は実施できなかった。コンケン大学付属高校との交流では、お互いの研究発表を実施する段階まで進めることができた。</p> <p>・3年ぶりに保護者を招いて研究発表を実施することができた。</p>

学校関係者評価	
実施日(令和5年3月1日)	
評価	意見・要望等
3	<p>・コロナ禍で、多様な教育スタイルを提供しながらの学びの保証に努めている様子が伺えますが、その中でできることを見つけ、実践できたことは良かったと思います。今後も生徒の探究心・表現力・観察力など、粘り強く取り組んで欲しい。</p> <p>・一人一台端末等、IT環境が進んだ中、一人一人を伸ばすための個別学習の最適化を図り、確かな学力の定着化に取り組みでいただきたいと思っています。</p> <p>・授業の充実が基本だと思います。前提として授業の準備や研究がより一層できるよう教職員が充実されることを県当局にも望みます。</p> <p>・活用力や探究力を高める授業とするためには、相互授業参観を通して学ぶことが多い、授業力を高め、授業改善に継続して取り組んでいただきたいと思っています。</p>
3	<p>・保健室やスクールカウンセリングの利用状況から、心の不安定さが心身の不調として現れるケースが多々ということから、生徒の悩み寄り添い、担任や学年と情報共有し様々なアプローチを展開しながら生徒の学生生活を支えていただきたい。</p> <p>・県のスクールカウンセラー派遣事業または関連機関等と協議いただき、スクールカウンセリングの機会が、年間適切になることをご提供できるようにお願いしたい。</p> <p>・ボランティアは、社会の課題を「他人事から自分事」にしていくことであり、参加を通じて多様な世界にふれることは社会のためだけでなく自分のためにもなります。コロナ禍でも、何か出来ないかという、発想で取り組んで欲しい。</p> <p>・安心安全な学校を目指し、調査で見えてこないはじめの状況や交通安全な教育などの一層の充実を望みます。</p>
3	<p>・日常に戻るように部活動や学校行事が開催されていることに励まされた。高校時代に打ち込んだ体育活動や文化活動はその後の人生に大きく影響を与えるものであり、そこでの学び・経験は机上での学びや経験に勝るとも思っています。生徒の感想を見ても、修学旅行、スキー教室をはじめとした行事の実施されたことに感謝申し上げます。</p> <p>・各部活動が、個々の成長に目を向け、効果的に取り組んだことが、結果に繋がったと思います。今後は、5類への移行後の社会の変化や課題に応じたイノベーションを加速させることが、学校行事、部活動等の更なる発展につながると思います。</p>
4	<p>・コロナ禍で保護者同士の連携もままならない中、PTAとの協働により、保護者による連絡言語がある親からその後の人生に様々なキャリアを持つ保護者が友人の親という身近な存在として話をしていたただけたことは大変貴重だと感じています。進路選択、職業選択に大きく寄与できる授業と考える。今後の継続に期待しています。</p> <p>・生徒の個性を活かし、様々な生き方を学ぶ機会を大切にいただきたい。</p>
4	<p>・一流の研究者を招き、自然科学に関する興味・関心を高めて、科学技術と社会の関わりについて考える機会を提供するためのサイエンスプログラムに、卒業生の中から女性で活躍している研究者の講話を計画していただき、理系女子活躍のモデルとなる内容も含めた講話を実施していただきました。このように女性の活躍を啓蒙できるような教育も広めていただきたい。</p> <p>・課題研究もテーマも大変興味深いものが多い。SSH事業を通して課題発見力を高め、持続可能な社会の担い手となる人材の育成に期待する。</p> <p>・今後も、大学、地域、企業、研究機関と連携を密にし、効果的な協働体制ができることに期待する。</p> <p>・20年間にわたるSSHの継続は大変素晴らしい、先生方の長年にわたるご努力に対しまして、感謝申し上げます。</p>